

種便利

社会福祉法人 えのき会
京都市伏見区桃山町山下44の8
(075) 605 0303

デイさくらの家

お花見 & 母の日



今ではすっかりさくらの家の中庭の桜の木も真緑の葉っぱが生い茂っています。今年の4月も満開に咲く綺麗な桜を堪能しました。桜の木の下でハンモックをしながら、桜を眺める利用者さん。手を伸ばして触ろうとされる方や、気持ちよさそうな表情を浮かべておられる方がおられたりと、ハンモックに揺られながら満開の桜のように満面の笑顔がみられていました。次はまた来年…満開の桜の下で利用者さんとのひと時を過ごす時間を楽しみたいと思います。

そして、4月の後半から始めた「母の日制作」。母の日に渡すことはできなくなってしまうですが、ボールペンの色を選んだり、一つ一つビーズをつまんで入れたり、それぞれの思いを込めて作られた作品やハガキ。利用者さんも早く渡したいご様子が見られていました。

グループホームベル

ゴールデンウィーク



例年なら、お出かけ日和ですが今年はコロナの影響でデイも縮小したので、ずっとベルで過ごされています。

ベルではちよつと面白いことしてみました。新聞紙で作った兜に、利用者さんたち折り紙やシールを使い、オリジナル兜やこいのぼりを作成しました。みなさん、思い思いに飾りつけされ、楽しそうでした。

他にも、紙飛行機で思った以上に笑っておられる利用者さんや、他の人の部屋で爆睡される利用者さん、こんな時でも、マイペースに過ごされるベルの利用者さんで、職員も癒されたゴールデンウィークでした。

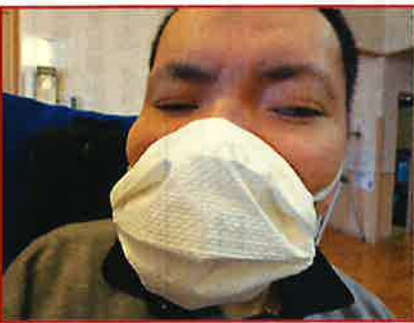
グループホーム ハック

「みんなで手作りマスクを作ってみよう!の会」

4月29日(祝)、ハックベリーのグッドホリデー企画は「みんなで手作りマスクを作ってみよう!の会」をおこないました。作業するテーブルと、みんなの手指をしっかりと消毒して準備完了。

まずは職員による見本のマスク作りをおこない、どのようなものができあがるかを見てもらいました。みんなが予想していた以上にしっかりと折ったマスクができあがり驚きの声が上がる中、いよいよ次はみんなの番。キッチンペーパーを折ったり、テープを止めたり、できる部分をみんなが協力しながらマスクを作り上げていきます。少し時間かかりましたが、なんとか全員分のマスクが完成。

早速みんなで作ったマスクの付け心地を試すと、みんなすごく良い感じ。普段あまりマスクをつけることを好まない方も、自分で作ったマスクは嬉しそうに付けてくれており、マスク作り大成功。楽しいグッドホリデーとなりました。



研修報告

「法人研修会 研修要綱」
 「成年後見制度から権利擁護を考える」
 成年後見人の日常生活における代弁者である支援者の役割について
 開催日…2020年3月7日
 講師…社会福祉法人えのき会 監事

オギ法律事務所
 弁護士 荻原卓司

【今回の目的】

- 1 成年後見人の成り立ちと社会背景について学ぶ
- 2 成年後見制度の概要を理解する
- 3 成年後見人の視点から、日常生活における代弁者である支援職である貴会の職員に期待する役割を話す

職員の感想など

・成年後見制度は権利擁護のための万能の制度でも何でもないが、支援者の成年後見人への適切な意見・助言と成年後見人との連携の下、うまく活用するためには役に立つ。
 当たり前のことであるが重要なことだと感じる。



さくらで作られた「アマビエ」です。疫病退散の効果があるとか!?!どうして紹介したくて載せました。



「法人研修会 研修要綱」

権利擁護・虐待防止研修会
 開催日…2020年3月15日(日)
 時間…10:00~12:30
 ＊コロナウイルス、感染症予防のため分散型の開催とします。

研修内容

「重い障がいがあっても、地域の中であたりまえに暮らす」法人理念の実現には、ご利用者が自分らしく尊厳をもって暮らしていたことが何よりも大切です。一方で不適切な支援により虐待が起こるケースも各地で発生しています。この研修では障害者虐待防止や身体拘束について話し合い、支援の質の向上とご利用者の生活環境(QOL)の改善について考えます。

職員の感想など

・虐待を生みにくくする環境をどう整えていくのか考えていきたい、個人の頑張り頼らない、職場でどうサポートしていくかが、課題かと思いました。

・職員同士の会話などの雰囲気も、利用者さんの気持ちの感じ方によって、良くなったり、悪くなったり、するので、発言など、気を付けていこうと思っ

た。
 話し合うことで、自分では考えつかない、意見もたくさんあって、びっくりしたり、なるほどと思えたので、普段の支援でも「どうしよう」とおもったときは、1人で考えこまずに相談していこうと思っ